

事業番号	15 08 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	文化財保護事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課		
		実施期間	S25 ~	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備	3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興					

1 現状と課題

- ・文化財に対する県民の理解を深めるとともに、文化財を確実に未来へ継承する必要がある。
- ・所有者等による文化財の保護・活用を推進する必要がある。
- ・コロナの影響下においても、県立歴史館による展示公開と県民が楽しく利用できる事業を工夫する必要がある。

2 事業目的

- ・文化財指定により、文化財に対する県民の理解を深め、文化財を未来に継承していく意識を醸成し、所有者等による文化財の保護・活用を支援し、文化財の確実な保護・継承を推進するとともに、観光振興や地域振興を図る。
- ・県立歴史館による歴史的資料の収集、保存整理、公開活動を行い、県民の教養と文化の向上に寄与するとともに、地域に貢献する取組を推進する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①文化財総合対策**
- ・市町村等と連携し、分野ごとに県内文化財を調査し、保護・継承すべき文化財を指定。
指定に当たっては県文化財保護審議会に諮問し、意見を聴く
 - ・指定文化財の現状把握や適切な管理のための文化財パトロールを実施
- ②文化財の修理及び防災事業補助金**
- ・文化財の所有者や市町村等が実施する文化財の保存のための修理、防災対策や活用事業に対して補助
- ③県立歴史館による歴史的資料の収集、保存整理、公開活用及び公文書館機能の強化**
- ・「信濃の修験（仮）」、「諏訪と武田氏（仮）」等の企画展の開催
 - ・考古学・古文書講座の開催や、「お出かけ歴史館」による南信地域での活動
 - ・特定歴史公文書を永続的に適切な状態で保管するための収蔵庫等燻蒸機会の確保

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	文化財指定等件数	件	1,372	1,399	↗	1,434	↗	1,450	未達成	県として保護・継承・活用すべき文化財として位置づけるため、年25～30件程度の新たな国指定等及び県指定等を設定	
②	県立歴史館利用者数	人	43,778	81,036	↗	65,179	↘	110,000	未達成	県立歴史館の事業の成果を表すため	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	1,342	360,900	21,229	383,471	321,392	328,127	30.0
R3年度	10,119	287,374	2,690	300,183	261,306	281,823	30.0
R2年度	1,497	274,823	0	276,320	237,320	246,396	30.0

事業番号	15 08 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	文化財保護事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課

6 主な取組実績と成果

①文化財総合対策事業

・8月と2月に開催した県文化財保護審議会を経て、5件の県指定等を行った。
 この他県内の文化財について30件の国指定等が行われた。



小町谷家住宅(駒ヶ根市)



獅子頭(宮田村)

②文化財の修理及び防災事業補助金

・国庫補助が交付される国指定等文化財の修理、防災事業に対する県費の随伴補助を39件行うとともに、県指定文化財の修理、防災等の事業に対する県費補助を17件行った。

③県立歴史館による歴史的資料の収集、保存整理、公開活用及び公文書館機能の強化

・企画展として「山伏－佐久の修験 大井法華堂の世界－」「諏訪と武田氏」「高遠藩の遺産－最後の藩主が残したもの－」等を開催し、18,929人に入場いただいた。
 ・上級古文書講座をはじめとした各種の古文書講座を31回開催した。
 ・旧須坂商業高校校舎3階を特定歴史公文書の収蔵スペースとするための設計を実施するとともに、歴史館常設展示室を利用した特定歴史公文書の燻蒸作業を実施した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	文化財指定等件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
令和4年度における文化財の国・県指定等は35件で当該年度の目標件数には到達したが、それ以前についてはコロナの影響で関係者が集まったの現地調査等ができない場合が多く、令和4年度末までの累計の目標値である1,450件には到達できなかった。							
指標②	県立歴史館利用者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
令和4年度は前年度に引き続き、コロナの影響が長引いたことによって利用者数が伸びなかったと考えられる。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で関係者が集まったの現地調査等ができない場合が多く令和4年度末までの目標値には到達できなかった。文化財の評価・価値付けをしっかりと行うことを前提としつつも、オンラインによる現地調査などの手法なども検討する必要がある。 ・博物館法の改正により、博物館は社会教育施設であるとともに文化施設にも位置付けられた。県立歴史館については、これまでの社会教育施設としての側面は堅持しつつも、芸術、観光、地域振興に関連する施設との連携を強め、今まで以上に利用者の満足度を高めていく必要がある。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・県内文化財を調査し、保護・継承すべき文化財を指定していけるように、必要に応じてオンラインによる現地調査などできないかを検討する。 ・歴史博物館だけでなく、芸術、観光、地域振興関連の各種施設等とも連携を図り、様々なきっかけから県立歴史館に来館してもらえるような仕組みづくりを検討していきたい。

事業名	文化財保護事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
-----	----------	----	----------	-----	-----------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	文化財総合対策事業		84,301 千円	101,424 千円	91,127 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	文化財総合対策事業	直接	8月と2月に県文化財保護審議会を開催。 県文化財保護審議会を経て、5件の文化財が県指定等に指定された。また、この他の県内の文化財について30件の国指定等が行われた。		
2	文化財の修理及び防災事業	補助金	指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助 56件		
3	埋蔵文化財保護対策	委託	埋蔵文化財の保護のための埋蔵文化財包蔵地パトロールの実施 483箇所		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	銃砲刀剣類登録及び公開事業		327 千円	366 千円	323 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	銃砲刀剣類登録審査会	直接	銃砲刀剣類登録のための審査会開催 6回開催		
2	美術刀剣類保存講習会	負担金	日本美術刀剣保存講習会の開催 2回開催		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	県立歴史館事業		161,768 千円	180,033 千円	236,677 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	総合情報及び企画展等事業	直接	・企画展「山伏－佐久の修験 大井法華堂の世界－」「諏訪と武田氏」「高遠藩の遺産－最後の藩主が残したもの－」等を開催。 企画展には18,929人が来場		
2	文献資料事業費	直接	・上級古文書講座をはじめとした各種の古文書講座を開催 上級古文書講座5回をはじめ、31回の各種古文書講座を開催		
3	公文書館機能事業費	委託	・旧須坂商業高校校舎3階を特定歴史公文書の収蔵スペースとするための設計を実施 ・歴史館常設展示室を利用した特定歴史公文書の燻蒸作業を実施。 ・旧須坂商業高校校舎3階を改修することにより約19,000冊の簿冊を収蔵できるようになる見込み		